NO.	補助 単独	事業名	事業概要（目的）	事業費（実績）	交付金充当額	事業期間	実施内容（R6.3.31時点）	成果及び評価	担当課
1	単	暮らしを応援物価高騰支援給付金給付事業	コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響が長期化する中、様々な困難に直面した生活困窮者等が、速やかに生活・暮らしの支援を受けれるよう低所得世帯等を対象に給付金を給付する。	104,550,000	104,550,000	R5.6～R5.11	原油価格・物価高騰の影響が長期化する中、様々な困難に直面した生活困窮者等が、速やかに生活・暮らしの支援を受けれるよう低所得世帯等を対象に給付金を給付した。 ・R5住民税非課税世帯 3万円　3,485世帯	対象世帯に給付金を給付し支援を行うことで、低所得世帯等の生活の安定を図ることができた。	健康福祉部 社会福祉課
2	単	暮らしを応援物価高騰支援給付金給付事業（事務費）	コロナ禍において原油価格・物価高騰の影響が長期化する中、様々な困難に直面した生活困窮者等が、速やかに生活・暮らしの支援を受けれるよう必要な事務経費。	2,873,017	2,873,000	R5.5～R6.1	暮らしを応援物価高騰支援給付金の給付に係る会計年度任用職員の雇用や必要となる事務（システム開発委託料、役務費、需用費等）を実施。	暮らしを応援物価高騰支援給付金の給付に係る会計年度任用職員の雇用や必要となる事務（システム開発委託料、役務費、需用費等）を実施し、円滑な給付を実施することができた。	健康福祉部 社会福祉課
3	単	小・中学校給食費無償化事業	コロナ禍の影響に加え、物価高騰に直面する保護者の負担軽減を図るため、期間限定で学校給食費を無償化(教職員は除く)する。	23,879,256	16,888,000	R5.7～R5.11	小学校、中学校、特別支援学校に通学する児童、生徒の給食費について、令和5年10月、11月分の2か月分の学費無償化を実施した。 対象：小学校、中学校、特別支援学校（小学部・中学部）	給食費を無償化することでコロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する保護者の経済的な負担の軽減を図ることができた。	教育委員会 学校教育課
4	単	幼稚園給食費無償化事業	コロナ禍の影響に加え、物価高騰に直面する保護者の負担軽減を図るため、期間限定で幼稚園の給食費を無償化(教職員は除く)する。	1,133,176	926,000	R5.9～R5.12	幼稚園に通園する児童の給食費について、令和5年10月、11月分の2か月分の無償化を実施した。 対象：公立幼稚園、私立幼稚園	給食費を無償化することでコロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する保護者の経済的な負担の軽減を図ることができた。	教育委員会 学校教育課
5	単	保育園給食費無償化事業	コロナ禍の影響に加え、物価高騰に直面する保護者の負担軽減を図るため、期間限定で保育園・認定こども園の給食費を無償化(教職員は除く)する。	4,485,120	3,541,000	R5.9～R5.12	保育園・認定こども園に通園する児童の給食費について、令和5年10月分・11月分の2か月分の無償化を実施した。 対象：公立保育園、私立保育園、私立認定こども園	給食費を無償化することでコロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する保護者の経済的な負担の軽減を図ることができた。	健康福祉部 児童家庭課
6	単	保育園保育料無償化事業	コロナ禍の影響に加え、物価高騰に直面する保護者の負担軽減を図るため、期間限定で保育園・認定こども園(3歳未満児)の保育料を無償化する。	5,830,060	4,404,000	R5.9～R5.12	保育園・認定こども園に通園する児童の保育料について、令和6年10月分・11月分の2か月分を無償化した。 対象：公立保育園、私立保育園、私立認定こども園	保育料を無償化することでコロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する保護者の経済的な負担の軽減を図ることができた。	健康福祉部 児童家庭課
7	単	認可外保育園保育料無償化事業	コロナ禍の影響に加え、物価高騰に直面する保護者の負担軽減を図るため、期間限定で認可外保育所に係る保育料等（利用料・給食費含む）を無償化する。	415,130	100,000	R5.9～R6.2	認可外保育所に通園する児童の保育料・給食費について、令和6年10月分・11月分の2か月分を助成した。	保育料・給食費を無償化することでコロナ禍における原油価格・物価高騰等に直面する保護者の経済的な負担の軽減を図ることができた。	健康福祉部 児童家庭課
8	単	畜産経営緊急支援事業	コロナ禍において飼料高騰やエネルギー価格高騰等により被害をうけている畜産農家に対する経営支援をするため、給付金を給付する。	34,991,000	25,343,000	R5.7～R5.9	令和5年4月1日時点で畜産経営を行っており、かつ畜産経営を継続する農業者に対して、家畜の種類に応じた単価を飼養頭数に応じて支援した。 実績：乳用牛　444頭　9,324千円 和牛繁殖牛　777頭　3,108千円 和牛肥育牛　748頭　10,472千円 豚　1,819頭　4,000千円 鶏　251,070羽　8,087千円	畜産経営を継続する農業者に対して、配合飼料費の経費補助を実施することにより、生産継続に対する支援を図ることができた。	農林水産部 畜産課

NO.	補助 単独	事業名	事業概要（目的）	事業費（実績）	交付金充当額	事業期間	実施内容（R6.3.31時点）	成果及び評価	担当課
9	単	農作物次期作支援事業	コロナ禍において原油価格・物価高騰により支障をきたしている農業者に対して、肥料費及び諸材料費の一部を支給する。	22,449,000	18,000,000	R5.7～R6.3	令和6年度以降の農水産物の生産に積極的に取り組む農業者に対し、肥料費等の経費補助を実施した。 ①営農支援タイプ ・肥料費及び諸材料費の合計額(税抜)×15% 上限50万円 実績：178件 ②農業振興タイプ ・肥料費の合計額(税抜)×10%　　上限10万円 実績：98件	令和6年度以降の農水産物の生産に積極的に取り組む農業者に対して肥料費等の経費補助を実施することにより、生産継続に対する支援を図ることができた。	農林水産部 農務水産課
10	単	エネルギー価格高騰対策支援事業（重点分）	コロナ禍において原油価格・物価高騰により、原油価格・物価高騰により支障をきたしている事業者に対して、電気・ガス・燃料費等の一部を支給する。	124,338,000	104,428,000	R5.10～R6.3	エネルギー価格高騰対策支援事業補助金を交付した。　実績：967件	補助金を交付することにより、新型コロナウイルス感染症拡大による原油価格・物価高騰の影響を受けている事業者を支援することができた。	商工観光部 商工課
11	単	粗飼料価格高騰対策支援事業	コロナ禍において物価高騰が長期化する中、飼料高騰やエネルギー価格高騰等により被害をうけている畜産農家に対する経営支援(粗飼料)をするため、給付金を給付する。	30,522,000	9,282,000	R5.12～R6.2	令和5年10月1日時点で畜産経営を行っており、かつ畜産経営を継続する農業者に対して、家畜の種類に応じた単価を飼養頭数に応じて支援した。 実績：乳用牛　444頭　11,988千円 和牛繁殖牛　750頭　8,250千円 和牛子牛　591頭　2,364千円 和牛肥育牛　720頭　7,920千円	畜産経営を継続する農業者に対して、粗飼料費の経費補助を実施することにより、生産継続に対する支援を図ることができた。	農林水産部 畜産課
				355,465,759	290,335,000				